

新 佐渡再生八策－「佐渡新時代の創生」

交通インフラの整備

①	空港	<p>(a) 佐渡空港の滑走路2,000メートル化のPI即時実施。 (PI: 住民説明/意見聴取/計画反映)</p> <p>(b) 佐渡－新潟線を首都圏に延伸 理由: 滑走路2,000メートル化には12～13年かかり、それを待っているのは、佐渡経済は大きく後退することが予想される。 対策: 滑走路の2,000メートル化を進めながら、現有890メートル滑走路を活用し、飛行機を首都圏に運航する。 効果: 佐渡を首都経済圏に組込むことで、佐渡の産業経済の活性化を図る。</p> <p>(c) 工場団地の造成(空港周辺)→企業誘致 理由: 空港を、佐渡成長戦略の中核にすえ、産業経済の活性化を図る。 事例: 庄内空港: エレクトロニクス産業誘致</p>
---	----	--

産業構造の改善

④	企業誘致	<p>(a) 佐渡空港近辺に工場団地を造成 (b) 先端技術産業等の誘致 我が国の貿易高: 環日本海/アジア5割、アメリカ1割</p>
⑤	農業	<p>(a) 資源循環型有機肥料工場の建設 佐渡農産物のブランド化→安心・安全の食料供給基地化 (b) 園芸農業振興と六次産業化→佐渡農産物の輸出促進</p>
⑥	畜産 水産	<p>六次産業化と若者の雇用拡大→製品の販路拡大(輸出も) (a) 肉用牛の振興: と畜場/食肉加工センター/販売会社の設立 (b) 水産物加工場の建設</p>
⑦	観光	<p>(a) 関西/中部の観光誘客←来春の北陸新幹線の開業 小木-直江津航路に高速カ-フェリ-就航 (b) クルーズ船(豪華客船)の誘致促進 欧米に加え、アジア太平洋の新富裕層の増加 我が国の団塊の世代の年金生活入り (c) 佐渡金山の世界遺産登録の実現→外国人観光客 ジ-アス(世界農業遺産)、ジオパーク(大地の公園)と世界発信</p>



②	港湾	<p>(a) 自然災害(佐渡北方沖地震津波)防災減災 (b) クルーズ船(豪華客船)誘致の為の港湾整備</p>
---	----	---

③	トンネル (大佐渡)	<p>(a) 生活道路: 外海府等/国仲の通勤が可能 (b) 産業道路: 各漁協から両津へ魚介類輸送 (c) 緊急道路: 救急車、消防車等の時間短縮 (d) 観光道路: 新たな観光ルートが開ける</p>
---	---------------	---

エネルギー政策(太陽光・風力・潮力・波力等)

⑧	自然エネルギー	<p>(a) 目標: CO2を5割以上削減。名実共に【環境の島】実現 (b) 背景: CO2の増加→地球温暖化→異常気象 (イ) 火力発電から自然エネルギーへの転換 (c) 具体策: CO2排出量: 年間70万トン、内火力発電: 40万トン (ロ) 電気自動車の普及←佐渡は国のモデル地区 (d) 事例: 宮古島/自然エネルギーでCO2を73%削減 岩手県葛巻町/風車13本で電力需要175%発電 余った電気は東北電力に売電 (e) 波及効果: 新たな観光資源となることが期待される。</p>
---	---------	--